

開館記念展

# 「宝塚の祝祭 I – Great Artists in Takarazuka –」



会 期 2020年4月19日(日)～6月14日(日)  
開館時間 10:00～18:00 (ただし展覧会場入場は17:30まで)  
※4月19日(日)のみ、展覧会場入場は12:00から  
休 館 日 毎週水曜日・年末年始・その他臨時休館日あり  
会 場 宝塚市立文化芸術センター内メインギャラリー、キューブホール  
観 覧 料 一般1,000円、中学生以下無料  
主 催 宝塚市立文化芸術センター (指定管理者:宝塚みらい創造ファクトリー)  
後 援 神戸新聞社

## ■概要

美術館ではない新しいアートのセンターが宝塚に生まれました。美術館は美術作品を保存して未来に届ける「ノアの方舟」のような存在ですが、アートセンターとは今をより良く生き、未来に生きる喜びを届ける方舟とも言えます。宝塚には、ブランドとして既に輝かしい歴史を誇る「宝塚歌劇」と漫画の神様「手塚治虫」が知られています。宝塚市立文化芸術センターはその先を目指すブランドとして「TAKARAZUKA ARTS」を提案します。第一弾は施設のオープンを祝い、世界で活躍する宝塚ゆかりのアーティストの競演をお届けします。出品作家6名のうち、2名は宝塚での発表は初となります。また、ヴェネツィア・ビエンナーレ※出品作家が3名。出品アーティストは皆が、宝塚市在住です。本展では、1954（昭和29）年に誕生した宝塚市の足あとを概観しつつ、世界的に活躍する宝塚ゆかりのアーティストの方々の作品を通して、豊かな芸術・文化を生み出した宝塚の魅力をお伝えします。

※ヴェネツィア・ビエンナーレ 世界最古の歴史を持つイタリアの国際展。国別参加形式と賞制度が設けられている。

---

## ○出品作家

### \*元永定正 *Sadamasa MOTONAGA* (1922-2011)

三重県生まれ。前衛美術グループ「具体美術協会」の代表的メンバーとして活動。絵本制作においても独創的な作品を送り出した。

フランス政府から芸術文芸シュヴァリエ章を受賞。紫綬褒章、勲四等旭日小綬章受章。第45回・第53回ヴェネツィア・ビエンナーレ参加。成安造形大学造形学部教授も務めた。



### \*辻 司 *Tsukasa TSUJI* (1933-)

大阪府生まれ。行動美術協会会員。現在全関西展運営委員、日本美術家連盟近畿代表、日本美術家連盟委員。世界を旅し、各地の祭りなどをテーマに、70年以上の創作活動を続ける。大阪芸術大学教授として後進の育成にも貢献した。

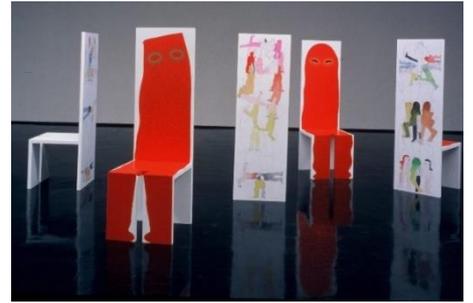
第7回昭和会展昭和会賞受賞。大阪市民表彰文化功労、宝塚市民文化賞受賞。



中辻悦子 *Etsuko NAKATSUJI* (1937-)

大阪府生まれ。平面、立体、素材を問わず、「人のかたち」をテーマにした表現を追求し続けている。絵本など、夫・元永定正氏との共作もある。絵本「よるのようちえん」で第17回ブラティスラヴァ世界絵本原画展グランプリ受賞。宝塚市制50・60年記念文化功労者表彰。兵庫県文化賞受賞。2001年より宝塚市大使を務める。

館



撮影：福永一夫 提供：伊丹市立美術館

\* 小清水漸 *Susumu KOSHIMIZU* (1944-)

愛媛県生まれ。1970年前後の美術運動「もの派」の中心的アーティストであり、現在も国内外で活躍中。

第37回・第39回ヴェネツィア・ビエンナーレ出品。第10回平櫛田中賞受賞。京都府文化賞功労賞、紫綬褒章受賞。京都市立芸術大学名誉教授など歴任ののち宝塚大学学長を務めた。



\* 松井桂三 *Keizo MATSUI* (1946-)

広島県生まれ。アートディレクター、グラフィックデザイナー。

大阪芸術大学短期大学部デザイン美術学科教授兼学科長。

政府広報（内閣府ほか全省庁統一）のシンボルマーク、関西国際空港（株）のシンボルマークなど制作。米国アップル社 Mac 他の基本パッケージデザインシステム構築及びデザインコンサルタントをはじめ、さまざまな企業、ブランドのアートディレクションを手がける。宝塚市立文化芸術センター開館にあたり、ロゴマークを制作。



\* 宮本佳明 *Katsuhiko MIYAMOTO* (1961-)

兵庫県生まれ。建築家、大阪市立大学大学院教授。博士(工学)。東京大学建築学科卒業、同大学院修士課程修了。主な作品に、第6回ヴェネツィア・ビエンナーレ建築展(金獅子賞)、「『ゼンカイ』ハウス」(JCD デザイン賞 ジャン・ヌーベル賞、JIA 新人賞)、「クローバーハウス」(日本建築家協会賞)、「『ハンカイ』ハウス」(JCD デザイン賞金賞)、「澄心寺庫裏」(日本建築学会作品選奨)など。



#### ■関連事業

○オープニングイベント 2020年4月19日(日) 13:00~13:15

「宝塚のための『白鳥』~rebirth『瀕死の白鳥』~」

関典子(舞踊家)と山村誠一(スチール・パン奏者)によるコラボレーション  
会場/宝塚文化芸術センター庭園

\* 関典子 *Noriko SEKI* ダンサー/神戸大学准教授

宝塚市出身・在住。幼少よりバレエを学び、18歳でコンテンポラリーダンスに転向。お茶の水女子大学大学院博士後期課程を経て、現在、神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授。「日本ダンス評論賞」「兵庫県芸術奨励賞」「神戸市文化奨励賞」など受賞。兵庫県立芸術文化センター所蔵「薄井憲二バレエ・コレクション」キュレーター。宝塚市での発表は初。



撮影：小椋善文

\*山村誠一 *Seiichi YAMAMURA* スティール・パン奏者  
ONE HARTZ STEEL ORCHESTRA をはじめ、  
複数の楽団を主宰。学校公演やコンサート活動の  
傍ら、各地でワークショップも開催している。  
宝塚音楽回廊にてステージ出演およびワークシ  
ョップを実施。当施設でのスティール・パン教室  
を開催予定。



○開館記念シンポジウム 2020年5月24日(日) 14:00~16:00

基調講演：北川フラム「地域とアート」 14:00~14:45

対談：北川フラム×加藤義夫（宝塚市立文化芸術センター館長） 15:00~16:00

会場／ガーデンハウス

\*北川フラム アートディレクター

1946年新潟県生まれ。東京芸術大学美術学部卒業。アントニオ・ガウディ展、  
ファーレ立川アートプロジェクト等をプロデュース。アートフロントギャラ  
リー主宰。大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭他の総合ディレクター。



北川フラム



加藤義夫

撮影：山本マオ

○ギャラリートーク

出品作家による作品解説を行います。

1：松井桂三 2020年4月25日(土) 13:30~13:45

2：小清水漸 2020年5月2日(土) 13:30~13:45

3：宮本佳明 2020年5月9日(土) 13:30~13:45

4：中辻悦子 2020年5月16日（土） 13:30～14:00

5：辻 司 2020年5月31日（日） 13:30～14:00

○パートナーズサロン

パートナーズサロンは、パートナー（有料会員）のみ参加可能なイベント。展示内容をより深く理解し、文化芸術への関心を高めるために、出品作家と当館館長によるトークショーを開催します。

会場／ガーデンハウス

1：松井桂三×加藤義夫 2020年4月25日（土） 14:00～16:00

2：小清水漸×加藤義夫 2020年5月2日（土） 14:00～16:00

3：宮本佳明×加藤義夫 2020年5月9日（土） 14:00～16:00

■ 同時開催／「ウィルキンソンの歴史」

会場／サブギャラリー

監修：鈴木博（郷土史家）

協力：宝塚市立中央図書館、アサヒ飲料株式会社

宝塚文化市立芸術センターでは、モダン宝塚のレガシー（遺産）を伝えるべく、宝塚市立中央図書館との連携事業として、「ウィルキンソンの歴史」展を開催します。

ウィルキンソンの創業者、英国人のジョン・クリフォード・ウィルキンソンは、狩猟中に兵庫県宝塚で優良な炭酸鉱泉に出会い、温泉場の近くに瓶詰工場を設けて、明治23年に炭酸水の販売を開始。同時期に一流ホテル「タンサンホテル」を開業、国内外の取引先をもてなしました。「ウィルキンソン タンサン」は世界各国に輸出され、日本を代表する飲料となりました。クリフォードは日本人女性と結婚、日本人の血を引く長女、孫が会社を引き継ぎました。

まちの記憶―郷土史家・鈴木博氏の協力を得て、130年もの歴史をもつ「ウィルキンソン」と発祥の地「宝塚」の歴史を紐解きます。



鈴木博所蔵

画像提供：アサヒ飲料株式会社

○会期中のイベント

オープンガーデンフェスタ連携事業「たからの庭～植物編～」

2020年5月16日（土）▶5月17日（日）

会場／宝塚文化芸術センター庭園



※事業名・内容はすべて予定です。写真は出品作と異なる場合があります。

---

【お問い合わせ】

宝塚市立文化芸術センター（森田、高）

■住所 〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7番64号

■電話 0797-62-6800

■FAX 0797-62-6880

<http://takarazuka-arts-center.jp/>

